

13:00

オープニング

-13:10

日本アイ・ビー・エム株式会社 GBS事業部 消費財事業部 理事 パートナー **中塚 肇**

13:10

食品企業におけるデジタル化を駆使してのSCM・生産革新(概要編)

-13:50

IoT、人工知能などが本格的な普及期を迎えつつある現在、生産を含めたSCM領域においての食品業界の環境を踏まえた課題と解決策について豊富な事例を織り交ぜてご説明いたします。製品・原材料、設備、ロボット、人の動きまでもデジタルデータとして収集し、製造や購買、設備保全などに活用してSCM全体のさらなる効率化を目指します。

日本アイ・ビー・エム株式会社 GBS事業部消費財事業部 部長 / シニアマネージングコンサルタント **佐藤 信広**

プロフィール 食品・日用品(CPG)領域の製造業・卸売業・小売業のお客様を担当するシステムエンジニア、インダストリースペシャリストとして20年以上の経験を持つ。現在、食品メーカーのお客様を中心にサービスビジネスを提案するシニアコンサルタントとして活躍中。マーケティング、販売、製造、購買、会計など幅広い業務エリアを対象にプロジェクトの構想策定、システム構築などの提案活動を実施している。中小企業診断士。

13:50

AI (人工知能) 活用によるSCM体制の強化

-14:30

飲料事業を手掛けるアサヒ飲料株式会社における生産調整業務でのAI活用事例をご紹介します。お客様のニーズが多様化するなか、多種多様な中身及び容器の組み合わせが存在する清涼飲料業界は、季節や天候、トレンドの変化等に伴う需要変動が大きく、最適な生産計画及び在庫管理の推進が経営における大きな課題となっています。このような課題に対し、アサヒ飲料で構築した「生産調整担当者が作成する計画へAIが最適な助言を行う仕組み」についてご説明します。

アサヒグループホールディングス株式会社 物流部門 理事・ゼネラルマネジャー **島崎 市朗氏**

プロフィール 1989年 アサヒビール株式会社入社 2011年 アサヒ飲料株式会社 SCM部長、アサヒグループホールディングス株式会社 物流部門 ゼネラルマネジャー(兼務) 2016年 アサヒグループホールディングス株式会社 物流部門ゼネラルマネジャー(専任) 2017年 アサヒグループホールディングス株式会社 理事 物流部門 ゼネラルマネジャー

14:30

SCM管理の効率化と経営戦略の迅速化を推し進める新プラットフォーム

-15:10

「6次産業モデル」を掲げてMD (マーチャндаイジング) 改革に取り組む居酒屋 / 外食チェーンがワタミです。弊社は海外を含むグループ統括のSCM管理 再構築プラットフォームとして、クラウドベースの最新ERP及びBIプラットフォームを採用しました。そこで採用しているプラットフォームの選定と導入支援のポイント、リアルタイムな経営判断に役立てる情報集積 / 分析基盤構築 遂行状況や、RPA活用事例を先のIT戦略ロードマップに掲げるIoT、AI活用計画と絡めて紹介します。
※インフォアジャパンからは本事例においても活用されているテクノロジーの現在・未来の戦略を紹介します。

ワタミ株式会社 経営管理本部 IT戦略部 本部長 **若林 繁氏**

プロフィール SCM領域 (調達、製造 / 販売管理、WMS、物流、財務会計、CRM/分析、マーケティング等) を基軸に業務コンサルから実行フェーズである大型 / マルチベンダ開発まで一貫したSIを28年以上に渡り実施。2018年からは事業会社であるワタミに入社し、エンタープライズアーキテクトとして経営戦略をバックアップできる統合ERP基盤の全体最適化を図っている。

15:10-15:30
休憩**インフォアジャパン株式会社** ソリューションコンサルティング本部 本部長 **石田 雅久氏**

15:30

食品業のAI、IoTを活用したSCMのこれから

-16:00

食品業におけるSCMロジスティクスがどのように今後のテクノロジーを活用し、効果創出するか、現状課題を解く鍵となる押さえておくべき取り組みは何か、AI、IoTを活用することが常識となる世界へ適応するためのステップを事例等を交えながら紹介します。

日本アイ・ビー・エム株式会社 GBS事業部コグニティブプロセストランスフォーメーションシニアマネージングコンサルタント、PMP **山岡 史法**

プロフィール SCMロジスティクスコンサルティングを中心に活動、Consumer Products、食品、製造業全般の国内外企業を対象にプロジェクトを実施。戦略立案から実行効果創出の牽引役を担っている。

16:00

食のトレーサビリティー IBM Food Trustのご紹介

-16:30

近年注目を集めるブロックチェーン技術について、金融エリア以外への適用の広がりとその理由、および実際の適用事例をご紹介します。ブロックチェーン技術適用領域への理解を深めます。2018年以降、ブロックチェーン技術の適用は「実証」から「実装」への軸足を動かしており、世界の動きとして注目される「食のトレーサビリティー」へのブロックチェーン適用をIBMにおける実例を交えてご説明し、その狙い・効果についてご説明します。

日本アイ・ビー・エム株式会社 GBS事業部 ブロックチェーンソリューションズ 担当部長 **水上 賢**

プロフィール 銀行・証券においてディーリング業務を経験したのち日本IBMに入社。金融系ソリューションのほか、グリーンイノベーション事業推進にてICTによる環境貢献事業を推進。その後、スマートシティ事業にて、公共、公益・流通・通信。製造業とともにICTによる街づくり貢献を推進したのち、現職につく。幅広い業界知識に基づき、主として非金融エリアにおけるブロックチェーン適用をリード。

16:30

WatsonVR (デモ&体験学習)

-17:00

自社での活用をイメージできるように、Watson Studio (VR・頻度分析) の無料版を用い、実際のデータを使って分析・解析を学習します。さらに文書・帳票や社外情報の連携などを実現するWatson学習環境づくりをデモを用いてご説明します。セミナー時には、WatsonVRの体験学習を行うには、IBMの事前登録とご自身のパソコン並びにインターネット環境が必要となります。(体験学習を行う方は、IBM.comよりIBMを事前登録ください。) 体験はせず、説明者のデモをご覧いただくことも可能です。

日本アイ・ビー・エム株式会社 GBS事業部 消費財事業部 シニアコンサルタント **桑崎 裕司**

プロフィール 精密機械・流通・商社・食品・日用品(CPG)領域のアーキテクト&コンサルタント&データサイエンティストとして20年以上の経歴。現在、流通・消費財関連のお客様を中心にWatsonによるサービス提案・PoC・試作・実装を実施。Watsonの利用エリアを実装検証とともに提案し、早期サービス提供の実現とビジネスチェンジを実践している。早い・安い・Great! が信条。